

有効期間満了：2010年10月31日

| | |
|--------------------|--|
| 案件名 | 株式会社ヨークベニマル向けユニフォーム（一部）販売におけるカーボン・オフセット実施 ＜表地 YB1508 使用 日本縫製品ブルゾン＞ |
| 申請者 | サンリッチモード株式会社 |
| 案件の概要 | 企業（ヨークベニマル）向けユニフォームを製造・輸送する際に排出するCO2排出量をカーボン・オフセットする。 ユニフォーム原材料製造、原材料輸送、ユニフォーム製造、ユニフォーム輸送の各段階でのCO2排出量を算出し、オフセットを実施する。 （株式会社ヨークベニマル：本社：福島県郡山市、セブン&アイ・ホールディング傘下の食品スーパーストア） |
| 認証区分・タイミング | I-1 商品使用・サービス利用 事前認証時及び事後確認時 |
| カーボン・オフセットの主体（帰属先） | 申請者 |
| 算定範囲 | 企業（ヨークベニマル）向けユニフォーム（制服）の製造工程・輸送行程のエネルギー消費量（電力量、蒸気量、重油、用水、ガソリン、軽油、LPG）。 |
| オフセット量 / 算定排出量 | 1t / 1t |
| クレジット種別 | 京都クレジット（種類：CER） |
| プロジェクト名 | インドネシアインドセメント代替燃料プロジェクト |
| 無効化日 | 2009年12月25日、2010年8月12日 |
| 情報公開 | <p>【カーボン・オフセットに関する説明】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・カーボン・オフセットとは、市民、企業NPO/NGO、自治体、政府が、自らの温室効果ガス（GHG）の排出量を認識し、主体的にこれを削減する努力を行うとともに、削減が困難な部分の排出量について、他の場所で実現した温室効果ガスの排出削減・吸収量等を購入すること又は他の場所で排出削減・吸収を実現するプロジェクトや活動を実施すること等により、その排出量の全部または一部を埋め合わせることをいいます。 ・弊社は自らの温室効果ガス（GHG）の排出量を認識し、主体的にこれを削減する努力を行うことを第一の目標とし、実行しております。 ・お客様である企業（ヨークベニマル）の「地球環境問題への取り組み姿勢」に協力し、またご要望にお応えすべく、ユニフォームにおいてカーボン・オフセットを実施します。 <p>【オフセットの主体（帰属先）】</p> |

サンリッチモード株式会社が、カーボン・オフセットを行います。

【オフセットの対象】

企業（ヨークベニマル）向けに販売するユニフォーム（一部）を製造・輸送する際に排出する CO2 排出量。その内、把握できた排出量全てをオフセット対象とする。

商品及び数量：ブルゾン 900 点 （予定）

期間は、2009 年 10 月 1 日～2010 年 9 月 30 日まで。

【算定量・算定方法】

1 t（実績）

日本・・・「カーボン・オフセットの対象活動から生じる GHG 排出量の算定方法ガイドライン（ver1.0） 2008 年 10 月 6 日 カーボン・オフセットフォーラム（J-COF）」、「温室効果ガス排出量算定・報告マニュアル（ver. 2.4）平成 21 年 3 月環境省・経済産業省」、「算定・報告・公表制度における算定方法・排出係数一覧」

の算定方法を参照にして算定した。

【クレジットタイプの説明】

京都クレジット（CER）

【クレジットの無効化方法】

償却口座移転（2009 年 12 月 25 日、2010 年 8 月 12 日実施）

ブラウス（166 点国内排出部分）・・・・・・・・・・355kg

クレジット無効化合計 1t

【プロジェクト情報】

プロジェクト名：インドネシア インドセメント代替燃料プロジェクト
セメント生産におけるクリンカ燃焼工程において、代替燃料の使用により CO2 を削減する。主に石炭の一部を代替する燃料としての籾殻、のこくず等バイオマスや他の燃料を用いる。

プロジェクト期間：2004 年 1 月 1 日～2025 年 12 月 31 日

（7 年間のクレジット期間を 2 回更新する計画）

プロジェクトの排出量削減量：144,413t-CO2/年

（平均、UNFCC HP 上の数値）

期間削減総量予測 2,469,337t-CO2

【販売価格・その他支払に関する事項】

カーボン・オフセット費用は、サンリッチモード株式会社が負担いたします。